

新城地域協議会だより（号外）しんしろ茶話会（子育て）



平成30年3月16日（金）に新城こども園と城北こども園の保護者会役員さんにより「子育て」をテーマとした茶話会が、開催されました。そのときの内容を、まとめましたのでご覧ください。また、この茶話会は地域の将来像を明確化する「地域計画」を策定するために開催したものです。「地域計画」は、新城地域自治区（新城小学校区）でこれまでにやってきた茶話会でいただいたご意見、アンケート等をもとに「安全・安心」「高齢化対策」「子育て支援」「にぎわい」の4つの柱を立て、現在新城地域協議会で策定中です。

■第1部：活動報告（平成29年度地域活動交付金事業）



【新城こども園保護者会】 移動動物園・人形劇

未就園児の保護者や他園の子どもたちにも、新城こども園の魅力を知ってもらいたいと、広い園庭を利用して移動動物園を開催。小動物の心臓音を聞くなど命とのふれあいを通じ、心の成長につながった。また、人形劇赤ずきんちゃんの鑑賞と合わせて、未就園児親子に園内の様子を知ってもらうため、スタンプラリーを開催した。人形劇にちなんで、紙コップ等のパーツを組み合わせて赤ずきんちゃんなどの人形を完成させた。入園前に園内の施設の様子や色々なお母さんと知り合うことができ、安心してこども園に入っていただけのきっかけづくりとなった。



【城北こども園保護者会】 城北まつり・食育講座・みんなで子育て座談会ほか

春から同じ小学校に通う他園の子どもたちとの交流や、育児相談できる関係をつくるための保護者同士の交流や地域との交流などを目的に、5つの事業を開催。城北まつりや子育て座談会は地域に認知されてきており、未就園児の保護者からも期待の声が寄せられている。今回のテーマは、城北こども園の保護者が中心となり、地域を通じて母親の子育ての孤立化防止を図るため、子供も大人も笑顔になるイベントを企画した。みんなで子育て座談会では、父親も参加し、共に子育てを学ぶことができた。今後も保護者会を主体として子育て支援につながる地域自治活動を継承していきたい。

■第2部:グループワーク（これまでの茶話会で出た課題や意見をもとに、できそうなことを提案する）

これまでの茶話会等で出てきた課題や意見のまとめ

子育て支援

- 遊ぶ場 : こどもたちが遊ぶ場が少なくなっている
- 学ぶ場 : 学習塾以外で、習い事の選択肢が少ない
- 交流する場 : こどもたちが交流する場や、子育てに悩む保護者が交流する場が少ない
- 守る場 : こどもたちを犯罪や交通事故から守る

この他、これまでの茶話会でいただいたご意見等を保護者会の皆さんにご覧いただいた上で、課題解決策をグループワークで出し合いました。更にその課題解決策の中でも1つか2つ実現可能と考えられるものを選んで、全4グループから発表をしていただきました。



グループワークの発表内容（提案概要）

●提案① 学ぶ場・遊ぶ場づくり

地域のおじいちゃんから将棋などを教えてもらったり、おばあちゃんから編み物やお手玉を教えてもらえるような場づくり。こどもたちも成長でき、おじいちゃんおばあちゃんもこどもたちから活力をもらえる。また、こどもたちが安心して集い遊べる場として、駄菓子屋を提案する。場所を考えると、駐輪場・駐車場を備え地域の中心でもある、文化会館でこういった学ぶ場・遊ぶ場が実現可能ではないか。また、こどもたちだけで安心して文房具を買いに行ける場も併設できればいいと思う。

●提案② 守る場・学ぶ場づくり

地域のおじいちゃんおばあちゃんによる、こどもたちの登下校の見守りを提案する。交通立番まではいかなくても、こどもたちの登下校の時間に合わせて、家の前に立って見守ってくれるだけでもいいと思うし、それだけでも大きな効果があると思う。そういった活動をしていただけると嬉しいなと思う。また小学校の学童の時間になったら、地域のおじいちゃんおばあちゃんから将棋や生け花などを教えていただけるような場があると、こどもたちの教育とお年寄りの活力にもつながるのではないかな。毎日ではなくてもいいので、定期的にそういった日を設けていけるといいと思う。

●提案③ 守る場づくり

こどもたちやお年寄りに交通マナーを教える場が必要と思う。自転車でまちなかの道を通ると危険と感じている。また、産婦人科がないので、新城に今後も住み続けるお母さんが出産する場合の補助制度ができるといい。

●提案④ 守る場づくり

新城こども園、城北こども園周辺の通園路が狭く、危険なので、なんらかの安全対策措置がとれないか。保護者会でも、そういった危険箇所の注意喚起を実施している。